

KTC中央出版

KinoDen 配信開始！



データ数約1000点の
 子どもに関するデータベース最新刊！

『日本子ども資料年鑑 2021』

出版年月：2021/02

ISBN：9784877583859 ProductID：KP00051752

●基本データはもちろん、子ども人口・子どもの貧困・生活習慣・いじめ・虐待・保育・医療・食・学力・メディア接触など最近マスコミ等で話題になるデータも掲載！！

データ数約1000点！！

●2021年版巻頭特集：子どもと新型コロナウイルス感染症～子どもの心身、家庭・学校生活に及ぼす影響～

スタンディングオーダー受付中！ オーダーナンバー：KS00000383

* KinoDenスタンディングオーダーは継続的に刊行されるタイトルを、自動発注するシステムです。

ProductID	ISBN	タイトル	同時アクセス1 本体価	同時アクセス2 本体価	同時アクセス3 本体価
KP00051732	9784877581978	日本子ども資料年鑑 2001	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051733	9784877582326	日本子ども資料年鑑 2002	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051734	9784877582845	日本子ども資料年鑑 2003	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051735	9784877583194	日本子ども資料年鑑 2004	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051736	9784877583361	日本子ども資料年鑑 2005	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051737	9784877583552	日本子ども資料年鑑 2006	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051738	9784877583569	日本子ども資料年鑑 2007	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051739	9784877583583	日本子ども資料年鑑 2008	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051740	9784877583606	日本子ども資料年鑑 2009	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051741	9784877583620	日本子ども資料年鑑 2010	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051742	9784877583637	日本子ども資料年鑑 2011	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051743	9784877583644	日本子ども資料年鑑 2012	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051744	9784877583668	日本子ども資料年鑑 2013	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051745	9784877583699	日本子ども資料年鑑 2014	¥19,800	¥24,750	¥29,700
KP00051746	9784877583743	日本子ども資料年鑑 2015	¥22,000	¥27,500	¥33,000
KP00051747	9784877583767	日本子ども資料年鑑 2016	¥22,000	¥27,500	¥33,000
KP00051748	9784877583798	日本子ども資料年鑑 2017	¥22,000	¥27,500	¥33,000
KP00051749	9784877583804	日本子ども資料年鑑 2018	¥22,000	¥27,500	¥33,000
KP00051750	9784877583835	日本子ども資料年鑑 2019	¥22,000	¥27,500	¥33,000
KP00051751	9784877583842	日本子ども資料年鑑 2020	¥22,000	¥27,500	¥33,000
KP00051752	9784877583859	日本子ども資料年鑑 2021	¥22,000	¥27,500	¥33,000

臨床検査技師国家試験ラストスパートでの座右の書、最新版！

『医学領域における 臨床検査学入門 第4版』

出版年月: 2018/07 ISBN: 9784877583811 ProductID: KP00051731



販売価格（本体価）

同時アクセス1 ￥26,400
同時アクセス2 ￥33,000
同時アクセス3 ￥39,600



改訂第4版の発刊にあたって

本書の旧初版は、1977年に、医学博士・故藤田啓介院長（学校法人藤田学園創設者）の発案と監修・編集のもと、同学園内の臨床検査学教育に携わる教職員が執筆し、藤田学園出版部から発刊して、当初は学園内の学生教材として利用していた。しかし、学外からの購入希望者が多数となり、広く一般図書として応え、2005年にKTC中央出版より本書の新初版を発刊した。今回はその改訂第4版である。

藤田先生は、旧初版の序のことばの中で、「私が本書を監修・編集したのは、雑草の生え放題、枝の伸び放題になっている臨床検査学、各教科の知識の森をまず下刈りし、枝打ちして、初心者が見失い迷わないようにするためであった。そこで、第一の目標としては学生が卒業し臨床検査技師となってどれかひとつの専攻をするようになった際、その他の専門科目について理解し記憶しておくのに必要な最低限の知識にしぼること、第二のねらいは、臨床検査技師の国家試験をうける人たちの、ラストスパートでの座右の書とすることである」と述べている。すなわち、本書が創刊された意味は、臨床検査学の入門書として、必要とされる膨大な量の知識を凝縮することであり、臨床検査業務に従事するために必要不可欠な国家資格を合理的に取得できるようにすることであった。

本書の編集方針は、基本的には旧版の意思を継いでいる。日々進歩している臨床検査学の必要最小限の知識や技術を掲載するために、少なくとも過去10回分（55回～64回）の国家試験問題の内容を全て網羅し、古い部分はできるだけ削ぎ落とし、出題基準は平成27年版臨床検査技師国家試験出題基準に変更した。また、理解や記憶を容易にするための図表、写真、挿絵、メモリーキャッチフレーズも随所に挿入しているので、大いに活用していただきたい。

本書が、臨床検査学を志す学生、臨床検査技師のみならず多方面からの有用な書として広く利用されることを心から願っている。

なお、この書は初版から第4版まで藤田学園に在職された多くの先生方のご協力の賜物である。第4版の出版にあたり、第3版の執筆者としてご協力いただいた先生方をここに挙げて敬意を表したい。

ご協力いただいた先生方

市原義和、荻津直通、藤田造郎、加藤寿章、新保 寛、寺平真治、中上 寧、野村裕子、原 進、丸田一晴、山本恵申、横井 昭（敬称略）

2018年6月11日

編集者代表 秋山秀彦

「基準範囲」の表記について

臨床検査値の意味を評価するにあたり、従来は正常値や正常範囲などと呼ばれていたが、検査値が正常かどうかを区別する言葉のような混乱や誤解を生むとの懸念から、「基準範囲」を使用することとなった。基準範囲とは一定の基準を満たす健康者から測定された検査値分布の95%信頼区間を示す。本書では従来の正常値を基準値、正常範囲を基準範囲として表記する。

- カラーの口絵が40ページ！
細胞や微生物など豊富な写真を掲載。
試験に欠かせない画像の勉強にも対応。
- 文章中の国家試験の出題回数を併記。
出題頻度や傾向がわかる！
- 過去10回分（55回～64回）の試験内容をすべて網羅。
- 重要な内容には「語呂合わせ」など頭に入りやすい工夫が随所に。
- これ1冊で多岐にわたる分野を網羅！
全10分野が1冊に！

*上記はカタログ作成時の情報です。価格等は予告なく変更となる場合がございます。

BOOKS
KINOKUNIYA 紀伊國屋書店

デジタル情報営業部
TEL:03-6910-0518 FAX:03-6420-1359
〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10
ict_ebook@kinokuniya.co.jp